

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	診断参考レベル 2025 調査に向けた放射線検査に対する被ばく線量調査の後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	患者さんが診療によって受ける X 線量について、診断や治療の目的を担保した上で最適化するため、診断参考レベル (diagnostic reference level: 以下 DRL) がその役割を担います。DRL とは、大規模な全国調査を行ったデータをもとに複数の解析結果を踏まえて、国全体の傾向を発表するものです。実際に診療を行う場合には、自施設の DRL と国の DRL を比較し、診療にとって X 線量が高すぎるかどうかを判断しています。しかしながら、国際放射線防護委員会 (ICRP) は国全体の DRL は 3-4 年ごとに更新されるべきと推奨しており、前回の全国調査が 2020 年であるため、2025 年の全国調査に向け附属 4 病院でも自施設の DRL の調査を行うこととしました。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日 ~ 2025 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関： 東京慈恵会医科大学附属病院 東京慈恵会医科大学附属柏病院 東京慈恵会医科大学附属第三病院 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 対象となる方：上記研究機関で 2020 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 1 月 31 日の間に放射線検査を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	一般撮影、X 線 TV 検査、CT 検査、乳房撮影、血管撮影、核医学検査時に得られる線量情報、撮影条件、被ばく線量の指標、患者情報（性別、年齢、身長、体重、体格情報）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 放射線部
		氏名	庄司 友和
(2) 試料・情報の管理責任	(1) の研究責任者と同じ		

	者	
	(3)共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて		この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。
【問い合わせ先】		<p>機関名：東京慈恵会医科大学附属病院 放射線部 研究責任者：城間 祐花（しろま ゆうか） 電話：03-3433-1111（内線：3803）</p> <p>機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 放射線部 研究責任者：梁野伸貴（やなの のぶたか） 電話：04-7164-1111（内線 2375）</p> <p>機関名：東京慈恵会医科大学附属第三病院 研究責任者：塚田亮太（つかだ りょうた） 電話：03-3480-1151（内線：3219）</p> <p>機関名：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 研究責任者：庄司 友和（しょうじ ともかず） 電話：03-3603-2111（内線 3371）</p> <p>対応時間：平日 09：00 ～ 17：00</p>

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。